

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類		詳細点検	
事務事業名 堺観光コンベンション協会事業補助		シート番号		A 一般事務事業	
担当部署名 文化観光 局 観光 部 観光企画 課		評価責任者(課長名)		東野	

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け
			施策	4	歴史・文化資源を活かしたまちの賑わいの創出	無
	2	事業開始年度	昭和 56 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	堺市及びその周辺地域の観光やコンベンションに関する事業を進める堺観光コンベンション協会に対して、事業等の支援・補助を行うことで、堺への観光誘客及びまちの賑わい創出を図ってきた。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体			
			<input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	公益社団法人堺観光コンベンション協会			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	堺観光コンベンション協会が実施する観光宣伝事業、コンベンション事業、堺まつり事業などへの支援、補助を通じ、観光コンベンション協会やその会員企業などとともに、公民連携による堺のPR、観光誘客を図る。			
9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	堺観光コンベンション協会が実施する以下の事業に対して支援を行う。 ○観光宣伝事業 ・鉄道事業者や観光協会等と共同したプロモーションの実施 ・観光客のニーズに応じた着地型旅行商品の開発・販売の実施 ・インバウンド誘致に向けた海外の旅行会社や雑誌記者等向けファミトリップの実施 ・春と秋の文化財特別公開、博物館における仁徳天皇陵古墳VRツアーの実施 ・3か所の観光案内所の運営、21階展望ロビーの活用、堺フィルムオフィスの運営、パンフレットの作成等の実施 ○コンベンション事業 ・関係団体(堺ホテル協会、大阪観光局等)と連携し、スポーツ関連のセールス等を実施 ○堺まつり事業 ○茶室(伸庵、黄梅庵)管理事業				
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他()				
		公益社団法人堺観光コンベンション協会				

Ⅲ. 投入量

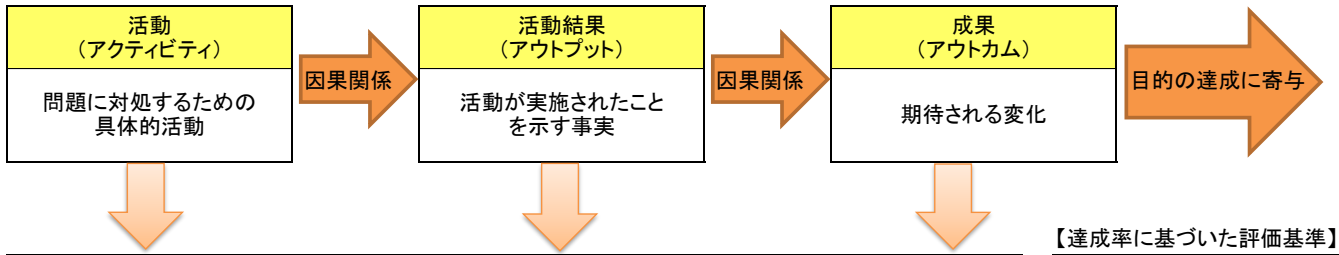
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	342,018	413,100	403,443	389,824	
	主な事業費内訳	負担金、補助金及び交付金	千円	342,018	413,100	403,443	389,824
			千円				
			千円				
			千円				
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他()	千円				
	12	人件費 (b)	千円	2,460	2,460	2,460	2,430
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	344,478	415,560	405,903	392,254	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	堺観光コンベンション協会事業補助	シート番号	08-01
-------	------------------	-------	-------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	<p>VRやCGの技術を活用して上空からの百舌鳥古墳群や築造当時の仁徳天皇陵古墳の様子を楽しんでもらう「仁徳天皇陵VRツアー」に関し、増加する外国人観光客向けに10月から多言語での案内を開始するなどにより、月平均で6%程度の利用者増加となった。</p> <p>H29年度 8,616名(8~3月) 月平均約1077名 H30年度 13,797名(4~3月) 月平均約1150名</p> <p>また、ホームページ「堺観光ガイド」の多言語対応ページを増加させるとともに、外国人観光客などのニーズの高いキャッシュレス対応状況などの情報も新たに追加することで、ページビューは昨年度比15%増の2,198,964件まで増加した。</p>						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		観光ビジター数	万人	目標値	1,074	1,156	1,237	1,418
				実績値	989	1,056	集計中	
				達成率	92%	91%	-	
	評価			普通	普通	-		
	算出方法・設定根拠など		市内主要駅の乗降客数や対面アンケートから観光ビジター数を推計					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		VRツアー参加者数	人	目標値			18,000	20,000
				実績値			13,797	
				達成率			77%	
	評価					少し悪い		
	算出方法・設定根拠など		堺市博物館で実施しているVRツアーの受付人数					

業績の分析

17	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>
	<p>目標値を下回った要因については、6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨、9月の台風21号など、相次ぐ自然災害により、堺へ来訪する観光客の減少など外的要因の影響が大きい。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。